

HATAKE

DIYORI

No.
17
2023 夏

発行

NPO法人
みんなのプロジェクト

人と人がつながり、思いやりをはぐくむ共助社会をつくる



column

出会う・つながる・学び合う

support

みんなでプロジェクト

Photo

日常の風景

event

Report



column 出会う つながる 学び合う



「その経験を『生きる力』として」

水野 英尚

先日、福岡県医療的ケア児支援センターが主催するフォーラムで、講演する機会がありました。与えられたテーマは、「大人になりゆくあなたへ」というもので、「医療的ケア」の必要な子どもたちの将来が、今よりもっと豊かなものであって欲しい期待と、その為になすべきことは何かという視点でお話させていただきました。

「医療的ケア」とは、痰の吸引、経管での食事、人工呼吸器の管理等々の、医療従事者もしくは、家族が担っていたケアを、教育及び福祉分野の支援者でも、行うことができるようにするために作られた造語です。そして、「医療的ケア児・者」という言葉が、行政機関などで頻りに用いられるようになって数年になります。2021年の「医療的ケア児支援法」(医療的ケア児を受け入れる保育所や学校など、地域資源の課題解決のための法律)が施行され、支援体制強化の動きは加速しています。全国に「医療的ケア児支援センター」が配置されるようになり(現在、都道府県の8割が配置済み)、相談や情報提供が以前と比べて、格段にしやすくなっています。今後益々、当事者や家族たちが抱えてきた、「生きづらさ」が少しでも改善されることに繋がればと期待しています。これからは、「医療的ケア」があるから通学ができない、それがあるからこれもだめ、あれもできないとされてきましたが、今後は、きつと変化していくことでしょう。



私は、何かとマイナスに捉えられがちな「医療的ケア」を、人生における一つの「経験」として、当事者も家族も、そして社会も捉えるようになれば、彼(女)たちの存在はその経験によって、生きる力を蓄えながら歩んでいる人たちと考えることができるのではないかと思います。

人生100年時代と呼ばれる昨今、多くの人たちが年齢と共に身体の衰えを抱えて、やがて、何らかの「医療的ケア」を受けながら生活することだっていると思います。そのような時、「こんな状態で生きていく意味がない」と嘆きながら暮らすのか、それとも「生きる力」に溢れて命輝いて生きるのかは、大きく異なるものでありましょう。そしてまさに、今を生きる「医療的ケア児・者」たちは、その、「フロントランナー」として歩んでいることに他ならないと思います。彼(女)たちが地域社会で生きる経験が、テクノロジーの進化を生み出し、社会や地域コミュニティが、誰にでも優しく暮らしやすいものへと、環境の変化へとつながるのではないのでしょうか。ですから、そうした子どもたちは、与えられた命を堂々と自信を持って生きて欲しいし、先行く先輩たちは、子どもたちの「未来図」を指し示す存在となつて、色々なことにチャレンジしてもらいたいと思います。そうした彼(女)たちの懸命に生きる姿は、きつと多くの人たちの希望を与えることになるでしょう。

私たちも、その「力」を身近に感じているものとして、地域の中で分かち合いながら歩むことができればと思います。

「自由空間こもん」(福岡市早良区梅林6丁目23番3号)

「ヘルパーさんと外出した時、ゆっくりとくつろげる空間があったら・・・」「吸引等の医療的ケアがあっても、気兼ねなく参加できる教室があったなら・・・」そんな「フリー」な空間を提供したいと考えています。

詳細についてのお問い合わせ先 電話:092-874-3051

「福祉運送みちくさ」

「車イスやバギーでバスや地下鉄等の公共交通機関は、利用しづらい・・・」「タクシーでは料金的にキツイ・・・」そんな外出での課題解決に、福祉有償運送はいかがでしょうか？

ご利用になりたい方は、会員登録をしていただくと利用ができます。詳しくお知りになりたい方は、以下の連絡先までご連絡ください。

電話:090-7921-7584(水野)

みんなで Minnade プロジェクト Project

サポーター会員
募集中！！

【振込み先】

ゆうちょ銀行 店名:七四八

記号:17440

口座番号:89850401

口座名義:トクヒ) ミナノプロジェクト

ご寄付をいただきました

吉村 正信様、小川 達也様、堀川 久美様、服部 美江子様
後藤 まりこ様、中尾 えがお様、倉光 登喜子、野田景子様
浅川 信子様、中村 知子様、吉川 一喜様、和田 好史様

ありがとうございました。

～サポーター会員の皆さまへお願い～

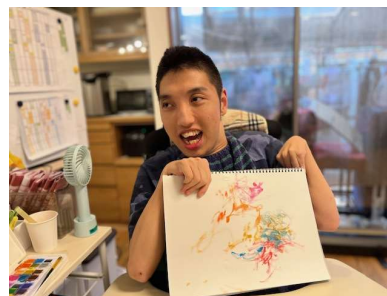
いつもご支援を頂きありがとうございます。年会費の納入の時期が来ましたら、左記のお振込み先までよろしくお願い致します。

日常の風景

Photo



27回目の誕生日。「大人」の階段を少しずつ登っています。皆さんのつながりを心から感謝しています。



博多の夏と言えば、やはり「山笠」でしょう。男たちだけでなく、女子だってワクワクしてます。



「倉光ファーム」からの稲もスルスクです。収穫が楽しみ！！(表紙写真)

REPORT

各イベントやニュースなど情報をお届けします。

2021年12月5日に放映されたNHKの番組、目撃につぼん「はたけのいえで芽生えた者は ～重度障害者のシェアハウス～」で、体当たりで寝食を共にした松尾ディレクター。この放送をきっかけに、全国から多くの人たちが私たちのチャレンジを応援してくれるようになりました。

松尾さんは今年の7月に福岡から東京へ転勤になりました。これまでの出会いを感謝しつつ、松尾さんの活躍がさらに広がりますようにと、心から願っています。ありがとうございました。お元気で！！



第12回ホームホスピス全国合同研修会In福岡

event

あたりまえの暮らしをあたりまえに～ケアの原点を見つめなおす～

2023年12月2日(土) 市民公開講座

- ・市原美穂 ホームホスピスの暮らし
13:00～13:40
- ・二ノ坂保喜 命を受けとめる町づくり
13:50～14:50
- ・水野英尚 はたけのいえの暮らし
15:00～16:00
- ・インスハート ミニコンサート
16:10～17:00

3日(日) 教育講演

- ・大熊由紀子 人をつなぎ・人がつながる
9:30～10:30
- ・太田秀樹 在宅医療のことはじめ
10:35～11:35
- ・対談 利他とケア
13:30～15:30
伊藤亜紗 VS 村瀬孝生

会場:TKPガーデンシティ 天神スカイホール

参加費 5,000円(両日) 12月2日市民公開講座 《一般》2,000円 《専門職》3,000円

お問合せ TEL0985-65-8087 <https://www.homehospice-jp.orj>

人と人がつながり、思いやりをはぐくむ共助社会をつくる

HATAKE No.17
DAYORI 2023 夏



発行日 2023年 8月31日 発行元 NPO法人みんなのプロジェクト

〒814-0172 福岡市早良区梅林6-23-3 TEL:092-874-3051 FAX:092-874-3052

H P:<https://minnanoproject.org/> メール:hatakenoie2020@gmail.com